

新潟県 公民館月報

KOMINKAN GEPPPO

10

October 2015
No.752



平成27年度 田上・加茂交流研修会(田上町)

田上・加茂の小・中学生48名が参加した、充実した研修会でした。

4~5

特集

県公民館大会を終えて「444名参加 多様な連携・協働に向けて」

聖籠町公民館 副館長 高橋 誠司

CONTENTS

- | | | | |
|---|---------------------------------|---|---|
| 2 | トピックス | 中越地区研修会開催される | |
| 3 | 視点
ひろば | 「公民館の歌」から考えたこと
「先人とのつながり」 | 村上市教育委員会 指導主事 板垣 和伸
魚沼市社教委員・公運審委員 坂田 明 |
| 6 | 実践記録シリーズ | 「石川雲蝶ガイド」 | 三条市嵐南公民館 |
| 7 | サークル交流
素顔拝見 | 「個性を写真に投影する仲間たち」(新潟市) / 「フラを学ぶ」(柏崎市)
米山 竜太さん(長岡市) / 村山 大夢さん(津南町) | |
| 8 | お元気ですか
ネットワーク
information | 「元気です」 | 三条市・佐藤 隆司さん |

▼TOPICS

中越地区研修会開催される

本年度の中越地区研修会が開催されました。

1 中越地区公民館職員研修会

期日：9月7日(月)

会場：塩沢公民館

主管：中越地区公連主事部会

主題：「絆と活力あるコミュニティ形成の拠点としての公民館をめざして」

「むすぶ」役割を生かした公民館運営

研修会テーマ：学びを深める学習プログラムのつくり方
「講座づくりのコツとワザ」



開会式 佐藤会長の挨拶

研修は年間研修計画により、主事部会の主管で開催されました。中越地区から47名の職員の

参加があり、終日研修を行いました。

研修は実務的な演習を午前と午後に分けて行いました。

講師は、越村康英・千葉大講師で、学習プログラムと講座づくりの実際を指導していただきました。



講師：越村康英氏

講義の後に演習Ⅰ、Ⅱでグループワークを行いました。



8グループの演習

2 中越地区公民館研究大会

期日：7月3日(金)

会場：十日町市市民会館

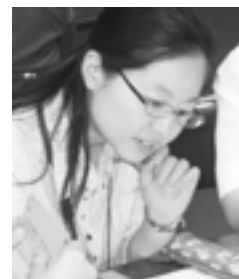
主管：十日町市中央公民館

津南町公民館

主題：年間主題と同じ(省略)

大会プログラム

開会式 挨拶 古澤 徹



熟考中



熱を帯びた演習



まとめの指導

祝辞 呉井 済

蔵品 泰治

講演

「人をつなぎ、地域を創る公民館の学び」

講師：長澤 成次・千葉大教授
事例発表

1 田村 英明・十日町市中央公民館補佐

「新座分館における盆踊り教室を通じたコミュニティの絆づくり」

2 根津サヨ子・津南町社会教育指導員

「公民館が地域の人材・団体をむすんで行う家庭教育講座の取組」

閉会式 挨拶 内山 純一

第63回目を迎えた研究大会にふさわしく、168名の参加者があり、終日、盛大な大会になりました。

(田原)

お詫び

先月号(9月号)トピックス欄

で当紙編集委員名に誤りがありました。お詫びして修正します。

2ページ上段

誤 佐藤 了(出雲崎町)

正 佐藤 亨(出雲崎町)

「新潟県公民館月報」 毎月15日発行 いつでも申込み受付中

公民館月報 定価1部160円 年間1,920円(いずれも送料含む)

申込先 〒950-2004 新潟市西区平島1301番地 中野プラザ107 新潟県公民館連合会 TEL・FAX025-266-7711

ひろば

「先人とのつながり」

魚沼市社会教育委員
公民館運営審議会委員
坂田 明



今年の夏は猛暑が続ぎ、その暑さのせい、少子化のせい、いつもの夏休みより子どもたちが外で遊ぶ賑やかな声が少なかったように思えます。

この時期夕暮れになると、各町内公民館では、お祭りの支度が始まります。

若手は灯籠の作成や屋台の組み立て、町内外への挨拶等々連日連夜忙しくしています。

さて、微力ではありますが私も鳴り物「和笛」を長年吹いています。

当初私たちは、先輩からマンツーマンで一つ一つ指導して頂き覚えてきました。

今の子どものための練習といえ、音符の教本を使っていることが、私たちの時代には考えられないことです。

しかし、今も昔も変わらない覚え方は、やはりマンツーマンで先輩の横に座り、「所懸命」指使いを目で、「リズム」を耳で見聞きをしながら、実践で調子を合わせて覚えていくのです。

「間違ってもいい。恥ずかしがらずに吹くん」

「ほら、良い音が出てきた」と声をかけています。

このやり方は、先人からの伝統として永く続いています。実践が一番の教え方」と覚え方、日に日に上達しています。

この場所は、世代を超えた人たちがつながり、触れ合い、なごみ、そして学べる「寄り所」として、育成の場所となっています。

時代が変わっても、これからの子どもたちのためにも大切にして行きたいです。

視点



村上市教育委員会
指導主事 板垣 和伸

「公民館の歌」から考えたこと

「公民館の歌」は、昭和22年に歌詞の全国公募が行われ、特賞に選ばれた作品に曲が付けられてできました。現在、各地の公民館大会・研究大会などで歌われています。歌詞には「郷土」「公民館のつどいから」という言葉が、1番から3番まで毎回出てきます。

まず集まる、会合をもつ、そのことでお互いに会話が進み、議論を重ね、次の行動に移っていく。この繰り返しの中で、住民の方々同士のつながりができ、強

まり、深まっていく。公民館は、郷土(地域)の中で、住民の方々が集まり、学び合い、つながりを強め、深めていく場であることが期待されています。

言い換えると、「集まる」→「学ぶ・学び合う」→「学んだ人たちがつながり合う、また、この方々がさらに様々な方々とのつながりをつくっていく」。このような活動の中で、自分たちの生活や地域を自分たちでよくしていくという意識が高まったり、活動を行うためのノウハウを身に付けたりと、住民の方々の自治能力が培われていく。そして、そのような住民の方々が増え、自分たちの生活や地域をよくす

るための活動が始まっていく。「地域づくりは人づくり」、「人づくりは地域づくり」とよく言われますが、公民館は人づくりを通しながら、地域づくりに密接にかかわっているのではないのでしょうか。

公民館の役割を考える時に、「つどい」「まなぶ」「つなぐ」という言葉がよく使われます。住民の方々が、公民館の活動の中で、集まり、学び、学び合い、つながり合いながら、育っていく。そのような場や機会、きっかけをつくっていくことが、公民館の大切な役割ではないかと、あらためて考えています。

掲示板 HOT NEWS

第2回 関ブロ理事会開催



左:佐藤会長 右:木場東京都事務局長

9月18日(金)に国分寺市で第2回関ブロ公連理事会が開催され、理事の佐藤 実会長と田原 理事務局長が出席しました。議事は下記のとおりです。

- 1 今年度の関ブロ大会の運営計画
- 2 来年度・神奈川大会の開催計画

理事研修会も行われ、佐藤一子・東大名誉教授が「公民館の存在意義を考える」をテーマに講話を行いました。

特集

県公民館大会を終えて 444名参加 多様な連携・協働に向けて

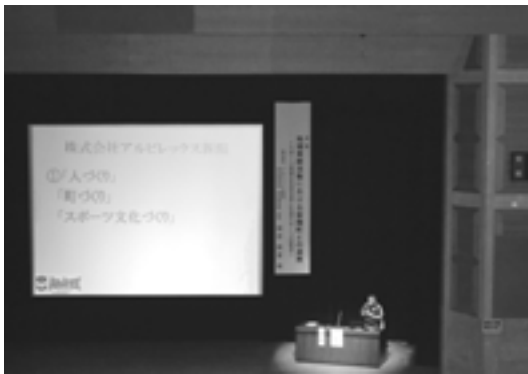


聖籠町公民館
副館長 高橋 誠司

7月17日、全県から444名の公民館関係者を聖籠町に迎え、第66回新潟県公民館大会が開催されました。

当日は、公民館永年勤続者31名への表彰状の贈呈に始まり、大会テーマ「地域連携で進める公民館活動」多様な主体の連携・協働を進める取組」に沿った形で(株)アルビレックス新潟の岡田育成普及部長による記念講演、上越、中越、新潟地区代表者からの事例発表が行われました。また、午前部の終わりにアルビレックスチ

アリーダーズによるダンスやクイズなどのアトラクションも行われ、会場を盛り上げていただきました。今回の公民館大会を振り返り、大会に漕ぎつけるまでの様々な出来事、大会の成果、会場地として感じたことなどを振り返ります。



記念講演

不安と試行錯誤

新潟県公民館大会「毎年耳にする聞きなれた言葉。今までは、「参加して勉強になった」、「他市町村とのネットワークができて良かった」そんな立場で気楽に参加していたことが、今年は15年ぶりの聖籠会場。大会運営に携わった経験を持つ職員は誰もいません。実行委員をどう組織化するのか。公民館関係者にどう案内するのか。予算はどう使えばいいのか。新潟市を参考にと資料を見渡したもの携わる職員数の規模が全然違う。大会の実行委員には新潟市の公民館長が名を連ね、組織体制がしっかりしている。聖籠町とは違う。そんな不安を抱きながら大会準備が始まりました。

最初は、参加案内、会費等の徴収方法、講師依頼、物販店の開設方法など、どれをとっても見えない部分が多く、手探りで作業する日が続きました。何度も何度も県公連に指導を仰いだり、確認したり、3歩進んで2歩下がる状態を繰り返しながらも着実に前に進んでいきました。

大会前の激務

そんな中で、一番苦しかったのが大会一週間前の2つの作業でした。一つは、参加者、弁当の取りまとめと名簿の作成です。参加者の追加、キャンセルは毎日のように連絡が来ます。弁当の有無も同様です。その度ごとに修正を加え、それに伴う名簿修正や業者対応などが続きました。大会2日前には、疲労もピークに達し、22時を過ぎた頃から単純ミスも。作業していた職員から会話が消えていました。二つ目は、大会前日の実行委員会(リハースル)のシナリオ作りです。下越地区の実行委員が集まるのは準備作業を含めて大会前日の半日のみ。大会当日の受付、接待、式典等の作業内容を簡潔に分かりやすく実行委員に伝えるためにはどうしたら効果的か。頭の中でシミュレーションを繰り返しながら、漸くシナリオを作成。町職員が各班のリーダー的存在になれるよう話し合いが続けられました。

そして、大会前日の実行委員会、各班に分かれて作業説明、役割分担、シミュレーションが行われましたが、特に指摘や変更もなく、昨日までの不安と焦りが嘘のように時間が過ぎていきました。

大会当日

いよいよ大会当日、全県から公民館関係者が続々と集まり始めました。混乱が予想された10時からの



永年勤続者表彰

受付も、動き出したらテキパキと仕事をこなしながら、笑顔で「おはようございます」。全スタッフの対応の良さに驚くばかりです。来賓案内や物販準備、場内整理も同様です。

10時30分開会。初めに公民館永年勤続者の表彰が行われ、受章者を代表して本町公民館運営審議会委員の渡邊久仁子さんから実体験と公民館活動を通じてながら謝辞が述べられました。

続いて行われた記念講演では、アルビレックス新潟の強化育成本部 育成普及部 部長の岡田朝彦さんから、聖籠町との連携事業の成果と今後の展望が語られ、引き続き、県公連の田原事務局長からの、たつての要望で大会初となるダンスによるアトラクションが行われました。会場からは、拍手や声援が響き、全員参加によるワイズコーナーも会場を盛り上



好評 物産展

げました。

午後から行われた上・中・新潟市からの事例発表でも地域との連携の必要性や、その効果など、現場ならではの声を聞くことができました。

大盛況 物産販売

地元下越地区のPRと今回の大会を盛り上げるために開催されたのが下越地区の特産などの物産販売。地元産のワインや、カステラ、ケーキ、珍味、工芸品など、地元の素材を使った、地元でしか買えない、



贈呈品 村上堆朱丸皿

そんな物産が参加者の目を引き、財布の紐を緩めました。6か所の店の前には行列ができ、業者の中には、商品が無くなり、慌てて追加納入の連絡を入れるところも出るほどでした。昼休みの短い時間でしたが、地元をPRし、参加者に楽しんでいただき、大いに大会を盛り上げてくれた物産店でした。

大会を終えて

大会テーマのとおり「連携」と「協働」を強く意識させられる大会となりました。記念講演、事例発表でも連携、協働の相手や手法は異なりますが、地域の特色、資源を活かした公民館活動を生の声で聴くことができ、参加した公民館関係者には大いに参考になったと思います。

また、今回の大会を終えて、参加者からは「今回の大会良かったね」「盛り上がった大会だった」「物産販売楽しかったよ」「弁当美味しかった」など嬉しい感想を寄せていただきました。

この結果は、何よりも実行委員になっていただいた、胎内市を始めとした下越地区の公民館職員が積極的に連携・協働した成果です。

今後多種・多様化する住民ニーズに応え得る公民館を目指して、地域住民や地域資源との連携・協働は勿論、公民館と公民館との関わりも深めていきたいと考えています。

終わりに、お忙しい中、大会に足を運んでくださった来賓の皆さん、公民館関係者の皆さん、そして運営スタッフとして奔走してくれた下越地区の実行委員の皆さん、地元物産販売にご協力いただいた業者の皆さん、本当にありがとうございました。

211

石川雲蝶ガイド

三条市嵐南公民館

実践記録シリーズ

三条市嵐南公民館ではふるさと講座を開設しています。市民に好評の講座で、定員50名の講座ですが、参加申込みが多く毎年満杯になります。

全5回シリーズで第1回は7月16日(木)に実施しました。



講演会の様子

1回目は三条雲蝶会・角田道雄さんを講師に迎えました。三条雲蝶会は法華宗総本山本成寺や吉野屋集落の石動神社のボランティアガイドの活動を長く続けていて、石川雲蝶の彫刻の遺作を広く紹介をしています。2時間の講演でしたが、「彫刻会の巨匠 越後のミケランジェロ」などと注目をされている雲蝶のお話で、50名の参加者は、最後まで熱心に聴きました。

講演は、プロジェクターで写真を紹介・説明しましたのでわかりやすい内容になりました。



長男儀平が寄進した「赤牛」



本成寺の伽藍と老松



石動神社



本照院の飛龍



石川雲蝶の墓



個性を写真に 投影する仲間たち

金曜写真クラブ

プロ写真家の主催する会から独立する形でこのサークルを小針青山公民館で立ち上げたのはちょうど10年前です。K氏を講師に招きメンバーは共に競いながら写真の技術向上並びに芸術性を追求しながら研鑽を重ねてきました。

また私たちはそれぞれが実に個性的で写真にも強烈な自己アピールがあり、議論も活達におこなっておりです。

近年では新潟県美術展、新潟市美術展、その他公募展などで入賞・入選する作品も多く、昨年の新潟市美術展ではグランプリを受賞するメンバーも出ました。

10年という時の流れの中で



培われてきた写真芸術に対する日々の努力が確実に実を結んできていることに、公民館という生涯学習の場でのサークル活動の有為性がみごとに証明されているのではないのでしょうか。

今年からはK氏の勇退をうけ新たにN講師のもと新たな十年に向けて視点を変えスナップアップをはかっています。

新潟市・金曜写真クラブ

会長 佐々木崇嗣 記

フラを学ぶ

カナヴァオ

カナヴァオはハワイ国有種のアジサイで、子孫繁栄の象徴です。フラ仲間が増えていきますように、との願いを込めて、サークル名をこの名前にしました。



柏崎市・カナヴァオ

江口かつ子 記

講師平田裕子先生(ハーラウ・ラ・オリハウ所属インストラクター)のもと、月2回活動しています。まず、手足の基本の振りを確認した後、曲の振りを覚えて踊っていくのですが、これが一苦労。なかなか覚えられず、仲間で教えあったり、一人で練習したり。やっと曲が踊れるようになり、出来なかつた動きが出来た時、フラが楽しい！と感じます。

9月から昼レッスンも始まり、サークル名に込めた思いが実りつつあります。

長岡市中央公民館 米山 竜太さん



長岡市中央公民館の米山竜太さんをご紹介します。

米山さんは昨年度、係長として中央公民館に配属になりました。公民館の職員としては、2回目の配属です。

普段は優しく、心のあったかい米山さんですが、係長として係員をうまくまとめ、バリバリ仕事をこなし、公民館の改革を様々成し遂げたスーパーマンでもあります。

趣味は音楽。学生の頃から楽器に親しみ、休日にはギターを演奏し、コンサートを開くこともあります。

そんな米山さんは最近お子さんが誕生し、ハッピーモード。公民館に幸せなニュースを運んでくれました。普段から、お子さんのことが本当に可愛いくて大好き！お子さんの話をする顔はとてもいきいきと輝いています。これからも優しく素敵なお父さんでいてください。

(長岡市中央公民館 長谷川元美 記)

津南町公民館

主事 村山 大夢さん



4月から津南町公民館に配属された村山大夢さんをご紹介します。

以前は、4年間地域振興課で商工観光を担当していました。

そのため十日町市出身にも関わらず、津南町にはとても詳しい方です。

日々、生涯学習・社会教育担当として膨大な量の仕事をこなしていますが、見てのとおり常に穏やかでニコニコとしているので、来て早々、利用者のおばあちゃんたちのアイドルとなりました。

そんな村山さんの趣味は芸術鑑賞。休みの日は美術館を巡っています。今年開催の「大地の芸術祭」も、全380作品コンプリート済み。作品について知りたい方はぜひ津南町公民館へお越しください。

(津南町公民館 主事 富沢 茉央 記)

素顔拝見

information

にいがた生涯学習
県民フォーラム2015

新潟県では、生涯学習推進「県民フォーラム」を開催します。

〈問い合わせ〉

新潟県生涯学習推進課

〒950-0857-0

新潟市中央区新光町4-1

TEL 025-2800-5616

E-mail: ngt500600@pref.

niigata.lg.jp

Stage1 にいがた生涯学習県民フォーラム2015
地域を学び・地域で生かす
平成27年10月30日(土)・31日(日)
会場: 県立生涯学習推進センター
申込不要
参加費無料
10月30日(土)
13:30 オープニング
14:00 講演「地域を学ぶ・地域で生かす」
15:00 質疑応答
10月31日(日)
10:00 生涯学習講演会
11:00 ボランティア活動
12:00 事故とその責任
13:00 実践発表
14:00 西沢清生さん講演

お・元・氣・で・す・か
「元氣です」

佐藤 隆司
(三条市)



「あきのたの」と天智天皇の歌で始まる百人一首競技かるたを学生の頃からやっていて、「ここ何十年かは少しづつ形を変えながら中央公民館で、月2回」初心者からた教室を継続して開催している。

また、文化祭行事の期間中では、体験講座や新潟県大会を開催し、底辺拡大や選手の育成に力を注いでいる。そのほか新年には、初心者を対象とした「新春かるた大会」も開催している。

現在、競技かるたの愛好者団体「三条九重会」の会長で、2年前から新潟県かるた協会の会長も任せられている。

県内でも希にみる活発な活動している三条市文化団体協

※お元氣ですかのコーナー掲載をリタイアしたがその後も元氣に活動している様子を紹介するコーナーです。

ネットワーク

〈全公連 全国公民館セミナー〉

今年度の全国公民館セミナーが左記により開催されます。

期日：平成28年1月6日(水)

8日(金)

会場：代々木・オリンピック

青少年センター(略称)

後日、全市町村に開催要項を送付します。新潟県として参加しますので県公連で推薦者をまとめます。参加補助があります。詳細は開催要項、送付文書を参照。

〈全公連 インターネット活用コンクール〉

全公連では従来の「ホームページコンクール」を一新して新たに「インターネット活用コンクール」を実施します。後日、全市町村に実施要項を送付します。

100年先の日本のために

豊かな水を育み国土を守る森林は、「緑の社会資本」であり、地球温暖化の防止にも大きな役割を果たしています。

私たちは、その恩恵を後世の人々が享受できるよう、長期的視点に立った森林づくりを推進しています。

新潟県市町村林政振興協議会
会長(糸魚川市長) 米田 徹

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内
TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

事務局長のつぶやき

「天高く 馬肥ゆる秋」になりました。厳しい夏を乗り越えてお元氣で過ごしていることと思います。

最近の文化庁調査では、会話の中で「いよいよ」と使う人が若者を中心に65%もいるとか。応

えを遠回しに否定したいときに使わらしい。「私、最近やせたかしら」と妻。「微妙と私。と使ったら妻の機嫌が悪くなるので「そっだね」と応じることにしています。

「かっぴは、いよいよは…」哀しいことだ。(田原)